

平成27年度 青果物輸出特別支援事業(平成28年度実施)に係る海外フロンティア市場販売
促進の支援報告書

平成28年12月8日

農林水産省
生産局長 殿

全国農業協同組合連合会
営農販売企画部
輸出推進課

平成27年度補正における青果物輸出特別支援事業に係る海外フロンティア
市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : EU(イギリス)
実施期間 : 平成28年 12月3日～12月4日
(フェアに係る出張 : 平成28年 12月2日～12月6日)



「TKトレーディングJA全農フェア」

1. 『TKトレーディングJA全農フェア』について

(1)期間 :平成28年12月3日(土)～12月4日(日)

(2)場所 :イギリス ロンドン TKトレーディング 特設会場

(3)出席者 :TKトレーディング 林シニアマネージャー他3名担当
 本会 営農販売企画部 遠藤、早見

(4)内容 :

ロンドンでは12月に年末フェアを実施する時期である。各店舗で商品PRを励んでいる。全農もこの機会を逃がさず日本産青果物の販促フェアを企画した。来場者も自家用車で複数のフェア会場をまわり買い物する。クリスマスに近いので、消費者財布のひもも緩い時期である。

TKトレーディング直営店に特設売り場を設置し、12月3日(土)9:30～16:00、12月4日(日)10:00～16:00の期間に青果物を陳列してPRした。

(5)販売青果物(野菜・果実)

品目詳細は、表①を参照

(6)出荷日程

11月29日 福岡→ロンドン 航空便

12月2日 今回ロンドン空港通関で時間がかかったため、予定より遅れてTKトレーディング直営店に到着

(7)着荷状況

すべての商品はほぼ良好だった。

表① 青果物(野菜・果実)

番号	商品名	産地	ケース	数量
			重量kg	
1	キャベツ	熊本	10	1
2	長葱	大分	3	1
3	洗いれんこん	佐賀	4	1
4	長芋	北海道	10	1
5	洗いごぼう	鹿児島	5	1
6	さつまいも	宮崎	5	2
7	にら	大分	5	1
8	水菜	福岡	4	1
9	なす	福岡	4	1
10	大根	熊本	10	6
11	さといも	熊本	10	1
12	しいたけ	長崎	2	1
13	なめこ	長崎	5	1
14	えのき100g	大分	5	1
15	まいたけ100g	福岡	2	1
16	かぼちゃ	北海道	10	1
17	りんご(世界一)	青森	5	1
18	アールスメロン	熊本	8	1
19	富有柿	福岡	10	1
20	殻つきぎんなん	福岡	1	1

2. TKトレーディングとの打ち合わせ

(1)日時 :平成28年12月3日(土) 11:00~13:00

(2)場所 :イギリス ロンドン TKトレーディング 会議室

(3)内容 :

TKトレーディングの会議室で、河本社長と輸出商品の着荷状況の確認、今後の販売拡大及びフェア実施計画について打ち合わせをおこなった。打ち合わせの詳細は以下のとおり。

ア. ロンドン空港税関において通関システム不具合発生したため、時間がかかった。TKトレーディング倉庫到着はフェア前日の夜となっておりぎりぎりであった。

イ. 着荷状況はおおむね良好であった。

ウ. 航空便輸送による青果物は物流経費かさみ、高くなり販売数量がのびない、よってCAコンテナのテスト輸送実施し、結果よければ定期船便を作りたい。

エ. 全農インタナショナルはシッパーとして日持ちのよい根菜類・りんご・梨など混載してCAコンテナでテスト輸送提案する。

オ. 日持ちしないレストラン用つまもの青果物は軽いため、従来通り空輸する。

カ. 次回全農フェアは来年1月28日(土)と29日(日)に実施する。

3. TKトレーディング特設会場での「JA全農フェア」実施

(1) 期間 : 平成28年12月3日(土) 9:30~16:00(本会職員と現地プロモーター対応)
平成28年12月4日(日) 10:00~16:00(本会職員と現地プロモーター対応)

(2) 場所 : イギリス ロンドン TKトレーディング特設会場

(3) 内容 :

フェア開催場所はTKトレーディング社日本産加工食品販売店舗に隣接しており、買い物客は同時に立ち寄ることができ、相乗効果がある。また、近所にあるATARIYA日本産水産物フェアを実施していた関係で、そのお客様も全農フェアに来場し青果物を買って帰る人が多かった。

日本食材を生かして弁当も提供して家庭料理のよい提案となり、人気を集めている。

また、日本人来場客が多いため、外国に駐在している日本人にとってはよいコミュニケーションの場となって全農フェアを楽しんでいる様子をうかがえる。



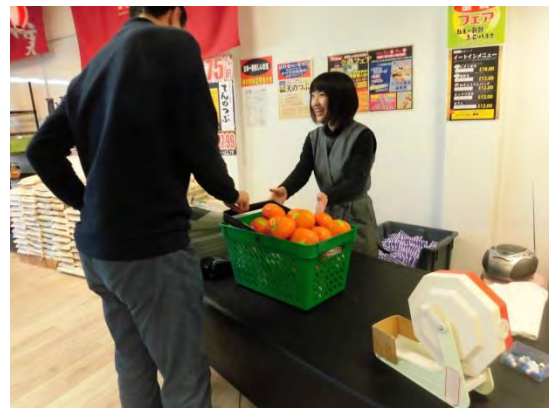
会場入り口駐車場にて全農フェア会場知らせるポスター。また、事前に日本人コミュニティ向けの雑誌でフェア開催を告示している。



日本青果物輸出協議会作成販促資材とロンドン輸入会社作成のPOPで売り場作りした。



全農職員による販促。



現地日本レストランバイヤーは業務用に大量買い付けもあった。



現地プロモーターおよび全農職員による販促。来場者はほとんど現地駐在日本人家族。

(2) 全農インタナショナル社欧州との打合せ

日時：平成28年12月5日(月) 10:00~12:00

場所:全農インタナショナル社欧州(ロンドン市内)

対応者:中村氏

内容①青果物においてロンドンではどのような品目・パッケージ・競合国について意見聴取して今後の販売の参考とする。

② 将来効率的に輸出するため、商流・物流について何を改善したらよいついて意見交換した。

③ 京都宇治茶産地よりお茶の試飲アンケート調査依頼あり、実施に向けての意見交換。



5. 所感

12月は各店舗販促フェアを実施する習慣があるため、全農フェアもこの時期を今後のフェア計画に組み込むことは必要と感じた。

いままで空輸で全農フェアの対応をしてきた。消費者の好みがある程度把握することができた。今後量的に販売拡大するにはCAコンテナによる輸送テストして販売単価を引き下げることが課題として取り組んでいきたい。

6. 今後の進め方

○今年度最後の全農フェアは2017年1月28日(土)29日(日)に決定しており、それに向けて出荷品目と数量を輸出代行会社と詳細詰めていく。

○CAコンテナテスト輸送に向け、物流会社の見積もり入手のうえ、品目別のロンドン到着価格を算出し、輸入会社へ提示する。